

第 8 回 鳳来北西部地域協議会 会議録（要約）

日 時	平成30年9月26日（水） 午後7時00分 ～ 午後8時00分
場 所	玖老勢コミュニティプラザ 1階 第1会議室
出席者	委員17名 事務局 5名
傍聴人数	
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 建議</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 意見交換</p> <p>5 その他</p> <p>（1）第9回鳳来北西部地域協議会について</p> <p>（配布資料）</p> <p>次第（カレンダー付き）・第8回鳳来北西部地域協議会（建議）会場図・鳳来北西部地域自治区予算事業に関する建議書・平成31年度要望事項一覧（事業別）</p>
	<p>1. 開会 開会挨拶：小笠原会長挨拶</p> <p>2. 建議 小笠原会長から穂積市長へ建議を行った。</p> <p>3. 市長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで半年間の地域協議会において、議論を煮詰めていただき、次年度の地域自治区予算について建議していただいた。 ・地域自治区制度は、市政の基盤という位置づけで市としては運営させていただいている。今後も住民自治について促進していきたいと考えている。 ・本日の建議については、全ての予算編成を踏まえ、地域自治区予算を精査させていただく。来年の3月議会に提案させていただき、議決を得られれば執行させていただくことになる。 <p>4. 意見交換</p> <p>（委員）海老の構造改善センターに台風24号の際、5人ほど避難してきた。停電により真っ暗になってしまい、子供達が恐怖心をいだいた。電気だけでもいいので、せめて発電機を一台用意してもらいたい。</p> <p>（委員）海老小学校の近くに防災倉庫があるが、そこには、水や食料、毛布が入っている。しかし、そこは避難所ではない。海老構造改善センターには何もない。学校から海老の構造センターへ倉庫を移していただきたい。防災安全課へは要望を出してある。市長からも防災安全課へ確認していただきたい。</p>

(委員) 台風の際、停電になり、携帯電話も通じなくなった。緊急時の連絡も出来なくなるので、旧海老小学校にある無線について、海老構造改善センターへ移していただきたい。

(市長) 台風24号については、ここ数年間ではないような長期にわたる停電を経験した。中電には、その原因の究明と対策を要望している。こういったことは、今後も絶対ない事態ではないので、それに対する対応について、いろんな課題が出てきた。稲目トンネルを越えたところにある簡易水道の施設でも、発電機がヒートアップして火事がでた。予期しない事態に対する備えが不十分であった。避難所のあり方についても、例えば愛郷では、避難所である旧鳳来西小学校まで行けないということで、区長さんの計らいで愛郷公民館を開設していただいた。そこに職員も配置させていただいて、避難所対応させていただいた。いわゆるマニュアルとは違う対応もさせていただいた。我々も今回の台風で、防災対策、避難対策について、もっと大きな災害や二次災害が起きた際の不安が残った。今、防災安全課を中心として、今回起きた事柄を洗い出しながら、避難態勢、ライフラインが寸断された際のバックアップ体制について整理をさせていただきたいと思う。その中で、旧海老小学校の倉庫、無線についても議論をさせていただきたいと思う。また、旧海老小学校事態が避難所となる場合もあるので、倉庫、無線が置いてあるということでもあると思うが、より実効性のあるものを検討していきたいと思う。ここで出された意見は記録して、議論していく。

(委員) 台風24号の際、玖老勢コミュニティプラザは避難所として指定はされなかった。台風の日、災害用に置いてある玖老勢コミュニティプラザの発電機を小学校へ持って行って使用した。しかし、この発電機は、災害時に区民のために使用する発電機であり、何かあった場合に他所へ持って行ってしまわずいのではないかという話が一部あった。こういった事態の対応については、教育委員会で即座に対応するようにしていただきたい。

もう一点、防災無線について、電池をテスターで測るときちゃんと使える電池を使用しているのに、2時間くらいで電池を交換してくださいとなった。電池は、店に買いに行っても品切れであった。

(委員) あの防災無線は、単3も入るのをみんなは知らないのではないか。

5. その他

(1) 第9回地域協議会について

日時：平成30年11月21日(水) 19時

場所：玖老勢コミュニティプラザ 第1会議室

内容：次年度地域協議会委員の選出方法について など

6 閉会